

鹿児島県

モデル圏域 鹿児島圏域

長期入院精神障害者の地域移行推進に向けて

鹿児島圏域では、平成26年から圏域の精神障害者の地域移行・地域定着支援に係る関係者の意識向上等を図ることを目的に、鹿児島・日置地区障害者地域連絡協議会の部会として年に1回、精神障害者地域移行・地域定着推進会議を開催し、管内精神科病院の現状報告、ピアサポーターによる講話等を実施している。

平成30年度は、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業」を活用し、一般相談支援事業所と共に、ピアサポーターの活用による地域移行支援、精神科病院職員に対する研修等を行い、精神障害者のより一層の地域移行を促進し、体制づくりを行う。

事業実施自治体における取組の拡大・推進

※平成29年度事業に参加自治体のみ記入

モデル圏域による取組を、自治体内の他圏域に拡大・推進するうえでの課題

項目	内容
地域移行支援の実績のある相談支援事業所が少ないこと	地域移行支援利用者数 10人(平成27～28年度) 地域移行支援の実績のある相談支援事業所3か所(鹿児島圏域)(平成26～28年度)
ピアサポーターが不足しているため、ピアサポーターの活用が進まないこと	県が把握しているピアサポーターの養成者数0人(平成26～28年度), 20人(平成29年度)

具体的な拡大・推進における方向性、支援内容、役割等

※「横展開」等の抽象的な文言ではなく、具体的にご記載ください

- 1 モデル圏域において事業を委託した相談支援事業所の職員やピアサポーターを活用し、地域移行支援に関する実践的な研修を行う。
- 2 養成したピアサポーターを他圏域の精神科病院へ派遣し、体験談発表を行う。退院を希望する長期入院者がいる場合は、当該圏域の相談支援事業所と保健所で、まずは1件、地域移行支援に取り組んでもらう。
- 3 ピアサポーター養成講座を実施し、相談支援事業所によるピアサポーターの活用を促進する。(相談支援事業所での雇用や鹿児島県ピアサポーターバンク(仮称)の創設による登録派遣制度など)

1 圏域の基礎情報

基本情報

市町村数（H30年4月時点）			5	市町村				
人口（H30年4月時点）			673,289	人				
精神科病院の数（H30年4月時点）			20	病院				
精神科病床数（H29年6月時点）			3,626	床				
入院精神障害者数 （H29年6月時点）	合計		3,262	人				
	3か月未満（％：構成割合）		475	人				
			14.6	％				
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）		707	人				
			21.7	％				
	1年以上（％：構成割合）		2,080	人				
		63.8	％					
		うち65歳未満	757	人				
		うち65歳以上	1,323	人				
退院率（H29年3月時点）	入院後3か月時点		63.6	％				
	入院後6か月時点		80.2	％				
	入院後1年時点		90.3	％				
相談支援事業所数 （H29年4月時点）	基幹相談支援センター数		3	か所				
	一般相談支援事業所数		33	か所				
	特定相談支援事業所数		48	か所				
保健所数（H30年4月時点）			2	か所				
（自立支援）協議会の開催頻度（H29年11月時点）	（自立支援）協議会		5	回／年				
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（H30年1月時点）	障害保健福祉圏域	有	1	か所				
	市町村	有	1	か所				
	3ヶ月未満入院者数		3か月以上1年未満入院者数	1年以上入院者数	政策効果による地域移行数（目標値）	合計		
平成27年6月末	590	人	541	人	2,168	人	3,299	人
平成28年6月末	624	人	542	人	2,117	人	3,283	人
平成29年6月末	475	人	707	人	2,080	人	3,262	人
平成32年度末		人		人		人	219	人
平成36年度末		人		人		人	745	人

2 圏域の取組における強みと課題

【特徴(強み)】

- 1 地域移行支援に積極的に取り組む意欲のある相談支援事業所の存在
- 2 ピアサポーターの受け入れなど事業に協力する精神科病院が複数存在
- 2 県精神保健福祉士協会が地域移行の研修や退院後生活環境相談員の質の向上に積極的に取り組むなど協力的

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
地域移行支援に積極的に取り組む相談支援事業所が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター養成講座の実施 ・ピアサポーターを活用した長期入院精神障害者の地域移行支援 	行政	精神科病院等関係機関との調整 等
		精神科病院	ピアサポーターの受入, 退院希望者リストの情報提供, 協議の場への参加 等
		相談支援事業所	ピアサポーターの派遣・同行, 住居や障害福祉サービスの調整, 協議の場への参加 等
精神科病院, 相談支援事業所, 保健所の三者による地域移行へ向けた連携が十分といえない	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉関係者による協議の場の開催 	行政	関係機関との調整, 地域課題の整理・分析 等
		精神科病院	地域移行支援の個別事案の分析, 検討 等
		相談支援事業所	地域移行支援の個別事案の分析, 検討 等

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値(H29)	目標値(H30)
①精神病床における1年以上長期入院患者数(人)	平成30年度からの障害福祉計画, 保健医療計画, 介護保険事業(支援)計画に共通のアウトカム指標(成果目標)であるため	2,080	2,007
②平成32年度末までに, 全ての市町村ごとに保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置(力所)		1	3

3 精神障害にも対応した地域包括ケアの構築支援事業 実施前の課題・実施後の効果等

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業 実施前の課題

- ① 地域移行支援に積極的に取り組む相談支援事業所が少ない
- ② 精神科病院, 相談支援事業所, 保健所の三者による地域移行へ向けた連携が十分といえない

平成29年度の実施による効果・成果(数値化できるものは数値化して記載)

- ① ピアサポーターの養成・活用(始良・伊佐圏域)
 - ・ピアサポーター養成講座の実施
県精神保健福祉士協会に委託して実施
公募により受講した20名のうち, 6名を相談支援事業所が採用
 - ・ピアサポーターによる体験談発表(平成30年4月25日時点)
精神科病院(7か所)10回, 自立支援協議会, 就労支援事業所等 12回, 受講者約968人(病院スタッフ等含む)
 - ・ピアサポーターによる長期入院精神障害者の地域移行支援(平成30年4月25日時点)
地域移行支援利用者数 9名, 検討中 6名
- ② 保健・医療・福祉関係者による協議の場の開催(始良・伊佐圏域)
 - ・始良保健所・大口保健所合同 2回
 - ・始良保健所 6回
 - ・大口保健所 5回

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成30年度の取組スケジュール

平成30年度の到達目標

1. ピアサポーターの養成・活用
2. 精神障害者の地域移行支援に関する研修の開催
3. 地域移行支援利用者目標値 73人

時期(月)	実施する内容	該当する目標番号
平成30年7月	ピアサポーター養成講座の実施	1
平成30年8月	相談支援事業所によるピアサポーターの訓練開始 体験談の準備	1
平成30年9月～	精神科病院における体験談発表の開始 精神科病院による退院希望者リストの作成, 提供	1
平成30年10月 ～平成31年1月	ピアサポーターによる地域移行支援開始	1, 3
平成31年2月	戦略会議, 研修会の開催 (事業の成果・課題の報告, 来年度以降の方針の協議)	2, 3